

# 断熱リフォームで家の断熱性能を高め

## 夏は涼しく冬は暖かい家で暮らそう



断熱リフォームをすればこんなにメリットが！



窓からの冷気を感じなくなった



部屋ごとの温度差が小さくなった



カビや結露が発生しにくくなった



暖冷房がよく効き、光熱費が下がった



周りの騒音が気にならなくなった



気密性が上がり、砂やホコリが入らなくなった



おうちの快適性が向上し、家族が健康になり、省エネ・省CO<sub>2</sub>で地球の健康にもつながります。

スケジュール	令和6年												令和7年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	令和6年 3月公募 公募期間 3月18日 ～ 6月14日			令和6年 6月公募 (予定)			令和6年 9月公募 (予定)			令和7年 1月公募 (予定)					

※公募期間に関わらず、補助金予算の上限額まで達することが判明した場合は、それ以降の公募受付を終了することがあります。

公募スケジュールについては、  
必ず財団ホームページにて最新の  
公募期間をご確認ください。

〈全国対象〉

詳しいお問い合わせは

公益財団法人  
北海道環境財団  
補助事業部  
断熱グループ

〒060-0004

北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤ビル7階

メール [danref\\_ask@heco-hojo.jp](mailto:danref_ask@heco-hojo.jp)

電話 011-206-1573【受付時間】平日10時～17時 ※通話料がかかります。

申請要件の詳細は、財団ホームページに掲載している公募要領をご確認ください。

補助金を活用して断熱リフォームを行った方のインタビュー動画もご覧いただけます。

北海道環境財団 断熱リフォーム 検索



デコ活

〈全国対象〉

環境省補助事業

居間の窓だけでも対象！

# 既存住宅の断熱リフォーム 支援補助金について



■ 既存住宅の断熱リフォーム支援事業 (二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

申請区分	トータル断熱			申請区分	居間だけ断熱		
住宅区分	戸建住宅	集合住宅 (個別) (全体)		戸建住宅	集合住宅 (個別) (全体)		
事業内容	高性能建材などを用いた既存住宅の断熱リフォーム			居間を中心とした高性能建材などを用いた既存住宅の断熱リフォーム			
補助対象となる申請者	個人の所有者または、個人の所有予定者等 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)		管理組合等の代表者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)	個人の所有者または、個人の所有予定者等 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)		管理組合等の代表者 賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)	
補助対象となる製品	断熱材、窓、ガラス+玄関ドア		断熱材、窓、ガラス+玄関ドア+共用部LED	窓+玄関ドア		窓+玄関ドア+共用部LED	
	蓄電システム 蓄熱設備 熱交換型換気設備等 EV充電設備	熱交換型換気設備等	—	蓄電システム 蓄熱設備 熱交換型換気設備等 EV充電設備	熱交換型換気設備等	—	
補助率	補助対象経費の <b>1/3</b> 以内			補助対象経費の <b>1/3</b> 以内			
補助金額 (上限額)	1住戸当たり <b>120万円</b> (玄関ドア5万円を含む) + 蓄電システム: <b>20万円</b> 蓄熱設備: <b>20万円</b> 熱交換型換気設備等: <b>5万円</b> EV充電設備: <b>5万円</b>	1住戸当たり <b>15万円</b> (玄関ドアも改修する場合は、 1住戸あたり <b>20万円</b> ) + 熱交換型換気設備等: <b>5万円</b>	1住戸当たり <b>15万円</b> (玄関ドアも改修する場合は、 1住戸あたり <b>20万円</b> ) ※上記上限額にLED補助額を含む	1住戸当たり <b>120万円</b> (玄関ドア5万円を含む) + 蓄電システム: <b>20万円</b> 蓄熱設備: <b>20万円</b> 熱交換型換気設備等: <b>5万円</b> EV充電設備: <b>5万円</b>	1住戸当たり <b>15万円</b> (玄関ドアも改修する場合は、 1住戸あたり <b>20万円</b> ) + 熱交換型換気設備等: <b>5万円</b>	1住戸当たり <b>15万円</b> (玄関ドアも改修する場合は、 1住戸あたり <b>20万円</b> ) ※上記上限額にLED補助額を含む	

※詳しくはホームページの公募要領をご確認ください。

さあ、はじめよう。

# エコ住宅・断熱リフォーム!

室温は、家の窓や壁、床や屋根などさまざまな部分から、外気温の影響を受けています。部分ごとの熱の出入りを知り、効果的なところから断熱リフォームをはじめてみましょう!

気温50℃以上になることもある天井裏を断熱

## 天井断熱

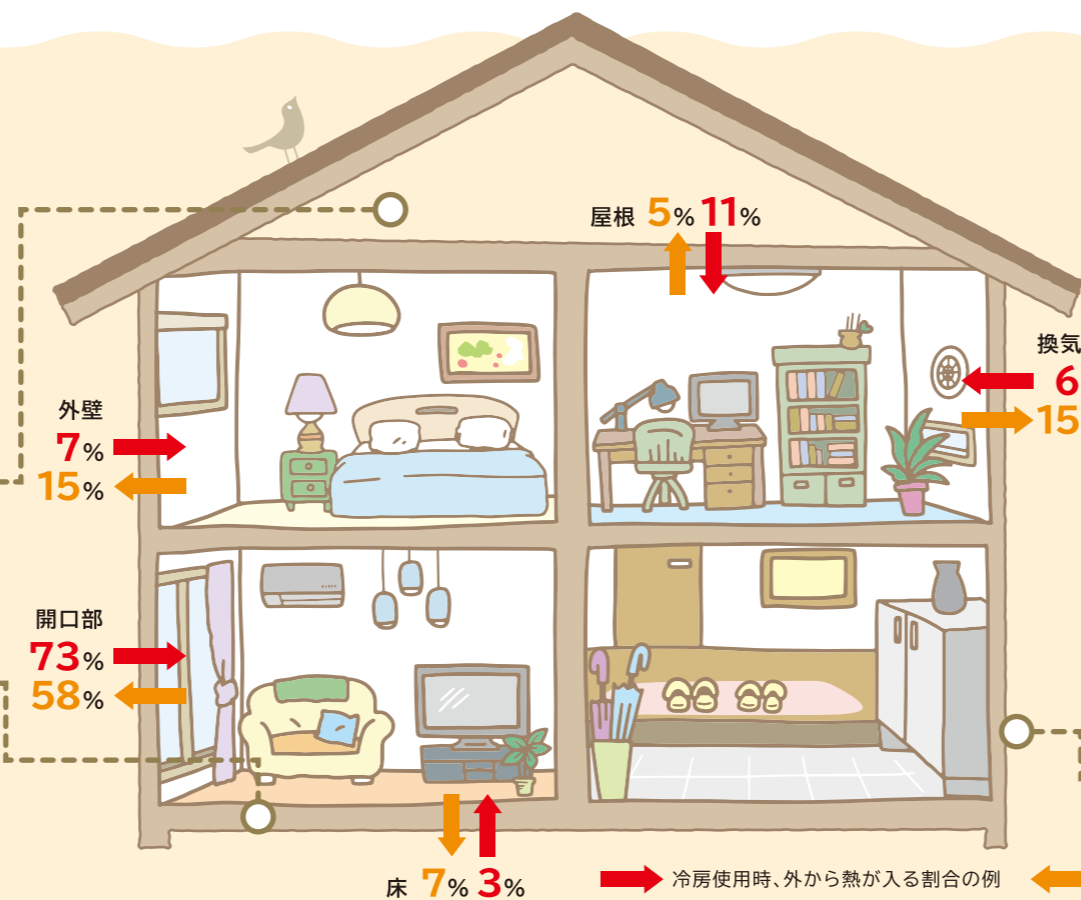
夏の天井裏の気温は50℃以上に達することがあります。天井裏に断熱材を敷き詰めることで、冬は室内から熱が逃げていくのを防ぎ、夏は天井からの日照りを抑え、暖冷房効果を高めます。

足元の冷さを解消する床下暖熱

## 床断熱

冬の冷たさは足元から感じるものです。床下にマット・ボードなどの断熱材や気流止めを施工することで、冷気の侵入や底冷えを防止します。

※居間だけ断熱等の部分的な断熱工事は、改修箇所によって断熱した暖房室と非断熱した非暖房室との温度差が大きく、ヒートショックや結露が発生する可能性がありますので注意してください。



効果が高い!窓の断熱

## 窓断熱

断熱リフォームを検討するなら、まずは効果の高い窓から。内窓の設置やガラス交換などは室内側の結露防止、防音などにも効果があります。また製品によっては防犯性も向上します。

＼ 単板の窓が寒い!結露が気になる! / そんな時の対応策

対応策 1  
カバー工法+  
複層ガラス



対応策 2  
内窓の取り付け  
(二重窓)



暖冷房効果を高める外壁断熱

## 外壁断熱

外壁に断熱材を施工して冬は熱の流出を、夏は室内への熱の侵入を防ぎます。これによって暖冷房効果が高まり省エネに。

→ 冷房使用時、外から熱が入る割合の例 ← 暖房使用時、外に熱が逃げる割合の例